



高齢化社会を迎えて

佐藤 一郎

郵便局と協定を結んでは

問 高齢者の一人暮らし、二人暮らし世帯が増加している。定期的な在宅確認が必要と思う。そこで、災害時以外も郵便局と協定を結び見守り隊を考えるべきと思うがどうか。

市長 郵便局の意向を伺いながら進めていきたいと思っています。郵便局は公共企業だったものが民間企業になり、経営・運営主体が大きく変わっています。そこで、これまでとは違った形で民間企業として公共性の高い郵便局のご協力をぜひ頂きたいと思っています。

問 いわぬま未来構想づくりはコミュニティづくりを重視している。町内会の一つの地区、例えば行政区単位でお茶飲みに参加できる場があればいいのではないか。

市長 市ができるだけそういった場が設けられるように努力するのの一つですが、もう一方では地域の皆さんが自主的にやってくれたら素晴らしいと思います。活動する場所とか、物によっては必要な

経費など、市として十分検討していかねばならないと思います。地域での盛り上がりや醸成していかねばならないと思います。

問 千寿荘の方向付けが難しいことは分かる。今までの市長の答弁では「子どもから老人まで集まれる場所の26年度中の方向付けを申し送りたい」とあった。ということとは、触れ合いの場所づくりを考えることなのか。

市長 これからの社会を考えた時、幾つになっても生きがいを持つて生活していただく、社会参加の場だとか活動の場がより多く供給されなければならないと思います。千寿荘という形での再建は難しいですが、いわぬま未来構想の中で26年度に検討するということです。

◎その他の一般質問

・貞山堀東側の農地土地利用



千年希望の丘

須藤 功

問 千年希望の丘でクロスカンタリー競走とか、ハーフマラソンなどのイベントができれば、すごくいい。開催する意思はあるか。

市長 具体的な提案を頂いたのでできるだけ活用していただければ、非常にありがたいと思います。

大会開き復興アピールを

問 岩沼は、千年希望の丘をつかったことで、ここまで復興した。立派な大会が開けていますというアピールができると思う。何もしなければ、国や県にお金ちょうだいと言ったって、何だ、それ、ただつくっただけじゃないかと言われる。大会やイベントをやってはどうか。

市長 子どもたちで、ランニングスペースをどうするかとか、いろんな課題はあるかもしれませんが、大いに活用してもらいたい。子どもたちには日ごろから千年希望の丘に、ぜひ行ってもらいたい、いろいろな活用をしてもらいたい。そのようになれば、非常にありがたいと思います。

